月刊 あなたにこの本を！ 平成24年4月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

高校生、災害と向き合う
ー舞子高等学校環境防災科の 10 年ー

諏訪清二　著
岩波書店　861 円　(0012406514)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

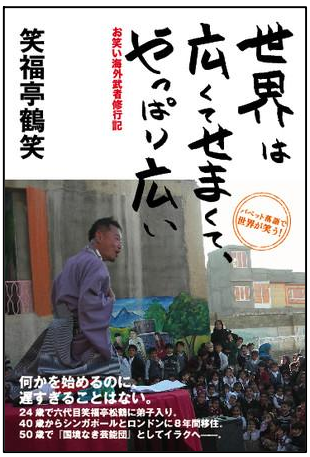
兵庫県立舞子高等学校には、全国で唯一の環境防災科がある。消防学校への体験入校、海外の被災地を訪問しての防災国際交流など試行錯誤で実践してきた防災教育の 10 年を教員が語る。高校生たちは、被災地のボランティア活動で、泥かきなどの力仕事を行うだけでなく、聞かせてもらった体験談は必ず他の人に語り継ぐことを約束し、被災者を元気づけた。彼らがひたむきに防災に取り組む姿は、これからボランティアに参加したいと思う若者たちの道標になる。〔519.9〕

ドコノモン

倉方俊輔　文・写真
日経ＢＰ社（発行）　日経ＢＰマーケティング（発売）　1890 円　(0012425705)

ジャンル ： 知識・教養を深める

「どうにも気になる魅力を放っているが、ドコのもんか分からない」戦後建築に傑作は多い。それらは歴史的建造物や著名建築家の作品ではない。建築史家の著者は、ゴージャス感あふれる大娯楽場の味園ビルや街のシンボルとなった渋谷 109 などを取り上げ、設計関係者に取材し、見どころを解説する。隠れた成果を掘り起こし評価することで、建築の多様な可能性を示し、建築にたずさわる人々を発奮させたいと著者は言う。建築史に新たな光を当てる一冊。〔521.6〕



世界は広くてせまくて、やっぱり広い
ーお笑い海外武者修行記ー

笑福亭鶴笑　著
ヨシモトブックス（発行）　ワニブックス（発売）　1400 円　(0012411055)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

パペット落語という人形を使った創作落語で世界を巡る著者が、自身の半生を面白おかしく紹介する。憧れの師匠笑福亭松鶴を看取った弟子時代や、シンガポールでの成功、全く受けなかったロンドンでのストリートパフォーマンスへの再挑戦など、思い出が次々に語られる。つらい時でも、負けん気と明るさを失わない姿勢に圧倒され、思わずひきこまれる。現在も国内外で活躍し、多くの人を笑わせたいと挑戦し続ける著者の熱い思いがすがすがしく魅力的だ。〔779〕

都市住民のための防災読本

渡辺　実　著
新潮社　714 円　(0012332770)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

地震でエレベーターが止まったとき、高層マンションの住民は地上との往復が難しくなる。防災・危機管理ジャーナリストの著者は、5階ごとに物品を備蓄するなど、都市防災のモデルにもなる具体的な提言を行っている。家庭内の冷蔵庫を使った水の確保など身近な話から、帰宅難民への対応の問題点や、東日本大震災の初動への反省、現在の地震調査体制の紹介まで、幅広く防災を説く。身近なところから対策を実行するきっかけとなる。〔369.3〕

どはどぶろくのど　ー失われた酒を訪ねてー

本郷明美　著
講談社　1575 円　(0012405222)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

酒税法で禁じられてきたどぶろくが、規制緩和による特区や酒造会社が販売する濁り酒として復活しつつある。著者は、赤く色づく華やかなもの、発酵を続ける香り高いものなど、各地のどぶろくを飲み歩き、それぞれの特徴や造り手の思いをレポートする。また、非合法の自家醸造にも触れ、地酒が観光資源である海外に比べ、規制が厳しいわが国の酒造りのあり方に疑問を呈する。日本古来の酒文化を知り、その豊かな味わいと未来に思いをはせることができる。〔588.5〕

地上の飯　ー皿めぐり航海記ー

中村和恵　著
平凡社　1680 円　(0012436917)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

比較文学者である著者が、インドの蒸しパンやオーストラリアの炒った芋虫など、訪れた国々の料理を、現地の人々との愉快なやりとりを交えて紹介する。また、北の海の魚である鱈(たら)が、なぜカリブ海で常食となったのかといった話から、食文化の背景にある植民地主義や人種偏見の問題にも触れる。北極探検隊全滅の原因となった缶詰の話、物語に登場したパンケーキをたらふく食べた思い出など、幅広い話題を軽妙につづり、食欲と好奇心を刺激する。〔596.04〕

大阪船場おかみの才覚　ー「ごりょんさん」の日記を読むー

荒木康代　著
平凡社　756 円　(0012421508)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

大阪船場の商家では、女主人は「ご寮(りょん)さん」と呼ばれ、店の経営、店員の教育など、様々なことをとりしきっていた。社会学者である著者は、船場に代々続く商家に嫁いだ杉村久子の昭和2年の日記を中心に、しきたりや生活、ご寮さんの仕事ぶりを読み解く。感情を交えず、簡潔にまとめられたメモ風の日記だが、商家の中の人間関係や生活がつぶさに描かれ興味深い。近代化により、変わっていく商家を切り盛りするたくましい女性の姿が見えてくる。〔672.1〕

なにものかへのレクイエム　ー二〇世紀を思考する：対談集ー

森村泰昌　著
岩波書店　1890 円　(0012395244)

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

ゴッホやモンローに自らなりきる写真作品で有名な美術家の著者が、ゲバラや毛沢東、三島由紀夫など20 世紀を騒がせた男性に扮(ふん)した個展を開催した。本書はそれを機に行った対談を収録する。政治家の顔について政治学者と、三島について小説家と、他にも多彩な人々と語り合い、時代が変わって失われたものに思いを寄せ、20 世紀を問い直す。「芸術とは、たった一人の決起である」とし、大阪で活動を続ける著者の、芸術への思いが伝わってくる。〔Eモリム〕